

小児インフルエンザ予防接種 予診票 【 回目 】

* 太枠内をすべてお書き下さい。

受診日: 年 月 日

ID番号		診察前の体温:	度	分
ふりがな		男	生 年 月 日	
氏 名		女	S · H · R	年 月 日生
			(満 歳 ヶ月)	

☆奄美医療生協 組合員に (加入しています(家族組合員) ・ 加入していません)

質問事項	回答欄	医師記入欄
①裏面の「インフルエンザワクチン接種を受けられる方へ」を読みましたか？	いいえ ・ はい	
②今日、体に具合の悪いところはありますか？	ある ・ ない	
「ある」と回答された方は、その症状をご記入下さい。【症状: _____】		
③最近1ヶ月以内に病気にかかりましたか？	はい ・ いいえ	
「はい」と回答された方は、その症状をご記入下さい。 月 日頃【症状: _____】		
④1ヶ月以内に家族や友達で、麻疹・風疹・水痘・おたふくかぜなどに、かかった方がいますか？	はい ・ いいえ	
⑤1ヶ月以内に予防接種を受けましたか？	はい ・ いいえ	
「はい」と回答された方は、その予防接種名をご記入下さい。【予防接種名: _____ 月 日】		
⑥今までに特別な病気(先天性異常・心臓・腎臓・肝臓・脳神経免疫不全症・その他の病気)にかかり医師に診察を受けていますか？	はい ・ いいえ	
「はい」と回答された方は、その病名をご記入下さい。【病名: _____】		
	いいえ ・ はい	
⑦ひきつけ(けいれん)を起こしたことがありますか？	ある ・ ない	
「ある」と回答された方は、何歳頃でしたか？ 【 _____】歳頃		
	はい ・ いいえ	
⑧食品(特に卵)や薬で皮膚に湿疹やじんま疹が出たり、体の具合が悪くなったことがありますか？	ある ・ ない	
「ある」と回答された方は、何に対して症状が出たかご記入下さい。【症状: _____】		
⑨接種を受けられる方のご兄弟の中に、先天性免疫不全と診断されている方はいますか？	いる ・ いない	
⑩これまでに、予防接種を受けて具合が悪くなったことがありますか？	ある ・ ない	
「ある」と回答された方は、その予防接種名をご記入下さい。【予防接種名: _____】		
⑪家族に予防接種を受けて具合が悪くなった人はいますか？	いる ・ いない	
⑫6ヶ月以内に輸血あるいは、ガンマグロブリンの投与を受けましたか？	はい ・ いいえ	
⑬今日の予防接種について質問がありますか？	ある ・ ない	
⑭保護者の方へ、お子様の発育歴についておたずねします。	出生体重	
出生時の体重をおしえてください。	【 _____】g	
分娩時に異常がありましたか？	あった ・ なかった	
出生後に異常がありましたか？	あった ・ なかった	
乳児検診で異常があるとされたことがありますか？	ある ・ ない	

<医師記入欄> 以上の問診および診察の結果、今日の予防接種は(実施できる ・ 見合わせた方がよい)と判断します。本人または、保護者に対して、予防接種の効果、副反応及び独立行政法人医薬品器量器機総合機構法に基づく救済について説明いたしました。 医師の署名又は記名押印 (_____)

<保護者記入欄> 医師の診察・説明を受け、予防接種の効果や副反応などについて理解した上で接種することに (同意します ・ 同意しません)。 保護者署名(_____) 続柄: (_____)

<保護者以外が同伴する場合> 今回の保護者の同伴を (_____) 続柄: (_____) に委託します。

使用ワクチン名	用法・用量	実施場所・医師名・接種日
インフルエンザワクチン	皮下接種 (左 ・ 右)	実施場所:
LOT番号	<input type="checkbox"/> 0.25ml (6ヶ月以上3歳未満)	医師名:
	<input type="checkbox"/> 0.5ml (3歳以上~)	接種日: 年 月 日

この個人情報、ワクチン接種の予診のみ使用致します。保護者の同意がある場合、法令等に基づく場合以外は 第三者に情報提供することはありませんので御了承ください

インフルエンザとインフルエンザワクチン

インフルエンザの症状は？



典型的なインフルエンザは1～5日（平均2日）の潜伏期間の後、突然に発症し、38℃以上の発熱、上気道炎、全身倦怠感等の症状が出現することが特徴的です。

流行期（日本では例年11月～3月）にこれらの症状があった場合はインフルエンザの可能性が高いと考えられます。症状の持続時間は通常2～3日ですが、場合によっては5日を超えることもあります。また、高齢者や小児、あるいは呼吸器系や心臓などに病気をもっている方がインフルエンザにかかると合併症を併発する場合があります。

細菌の二次感染による肺炎・慢性気管支炎の増悪は高齢者などに起こりやすい合併症です。

また、まれながら小児でのインフルエンザ脳症の報告がありますが、その原因はまだ明らかになっていません。

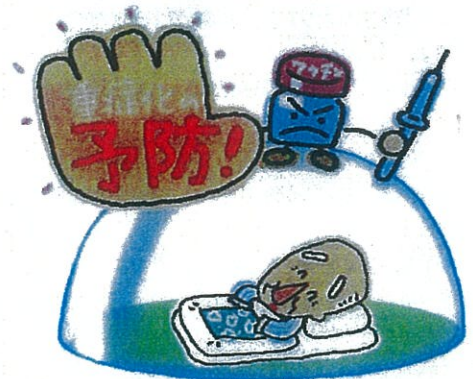
ワクチン接種で予防を

インフルエンザワクチンの接種で、インフルエンザによる重篤な合併症や死亡を予防することが期待されます。

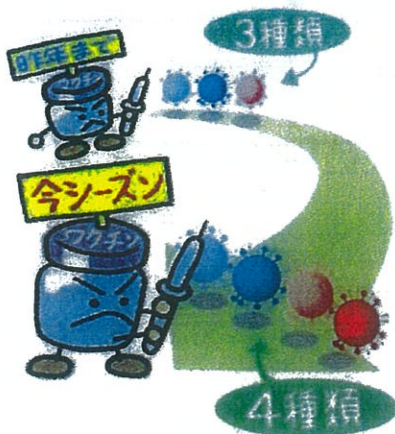
インフルエンザに対しては、ワクチンで重症化を予防することがインフルエンザに対抗する有効な手段なのです。

特に高齢者や基礎疾患（心疾患、肺疾患、腎疾患など）がある方は重症化しやすいので、かかりつけ医とよく相談のうえ、接種を受けることをおすすめします。

なお、インフルエンザワクチンでは他のウイルスの感染による「かぜ」を予防することはできません。



今年のワクチンはどの種類のインフルエンザに効果がありますか？



インフルエンザワクチンは、その年の初冬から流行するウイルス株を予測して製造します。インフルエンザウイルスには大きく分けてA型とB型がありますが、それぞれさらに細かく種類が分かれています。

2014/15年インフルエンザ流行シーズンのワクチンは、A型2種類*とB型1種類の3種類が含まれたワクチンでした。国内外で、インフルエンザB型は2系統（山形系統とビクトリア系統）のウイルスが混合流行していることが多くなってきているので、2015/16年より、A型2種類*とB型2種類の4種類が含まれたワクチンになり、より多くの種類のインフルエンザウイルスによる重症化を防ぐことが可能になります。

*A (H1N1) 亜型（インフルエンザ (H1N1) 2009と同じ亜型）とA (H3N2) 亜型（A香港型）